

(公表用様式)

業務再点検結果報告

組織名	神戸植物防疫所	連絡先	078-331-2806
所管する業務の概要	輸出入植物類の検疫業務、国内検疫業務及びそれらに係る管理業務		

1. 基本的な心構え・行動		
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策
本年7～8月に全職員を対象とした接遇研修を行い、挨拶や電話対応について再確認を行った。また、一定期間経過後、各人が接遇改善チェックリストにより自己判定を行った。		職員が農林水産省の一員（政策外交員）としての意識を持つことが課題。今後、職場内ミーティング等の場において喚起、意識付けを行う。
----- 業務分担表により、自分の担当業務を再確認した。		
----- 国民からの意見、要請、苦情等の情報を職員間で共有するため、植物防疫所内 LAN に「問い合わせ管理システム」を設け、それらの内容と対応状況について掲載し、植物防疫所の全職員が閲覧できるようになった。		

2. 政策・事業等の企画立案・推進			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
植物防疫所内 LAN に設けた「問い合わせ管理システム」の一部が改良され、本省（植物防疫課）職員も閲覧可能となり、当所に寄せられた情報も共有化が図られるようになった。		作業担当者に情報が偏りがちとなり、職員間での情報共有が課題。今後、ミーティングや電子メール等により情報共有を図り、職員一人一人が担当者（説明者）という自覚	

	意識を植え付ける。
植物検疫に関する手続きの照会や苦情相談のため、各植物防疫所に投書箱を設置している。	検疫制度に係る説明会等の開催に当たっては、参加者（国民）の意見・要望を把握することが課題なので、アンケート等を行い参加者の理解度や要望等を確認する。

3. リスク管理			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	
ヒヤリ・ハット事例（４件）を省内 LAN に登録し、自分たちの失敗事例を教訓として業務の見直しを行い、リスク管理に努めている。 交通事故対策として、官用車を運転する職員は安全講習会に参加するとともに、職員自らがハザードマップを作成し、事故の未然防止に努めている。 職員の震災意識を深めるため、各所に「防災に関するチェックシート」を送付し、災害時の行動や非常食、防災用具等の保管状況を再確認している。 職員に新型インフルエンザ罹患者が多数発生した事態を想定した業務応援体制を整え、緊急の場合でも円滑に業務対応できるよう取り組んでいる。		各職員がヒヤリ・ハット事例を自分の業務に置きかえて業務の見直しや改善を試みることを課題なので、ミーティング等の場を利用して職員に説明する。	

4. 食の安全に関する取組			
・ 現在行っている取組や工夫		・ 点検によって得られた課題とその改善策	

「食の安全」に関する新聞記事があればマークや付箋を付け新聞掛けに綴る等、閲覧に供することにより、職員の意識向上を図っている。	「食の安全」が重要であることを再認識するとともに、検疫技術の向上に努め「食の安全」確保に取り組む。
--	---

5. その他の重要な取組			
・現在行っている取組や工夫		・点検によって得られた課題とその改善策	
オフサイトミーティングを取り入れ、フリートーキング形式で職員間で自由に意見交換できる場を設けている。 ----- 職員の技術力向上のため、所内研修やゼミナールを定期的 に開催し、モチベーションの維持・向上に努めている。		職員のモチベーション向上が課題。現在取り組んでいる研修やゼミナールの実施に当たっては、職員の希望等も取り入れて企画する。	